

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発 (H27、H28)

彩の木の家ネットワーク グリーンエア工法開発グループ

事業の目的・内容

この事業の目的は、柱をとった後の「丸み材」の有効利用により、木取りの歩どまり率を上げることで、木材の有効利用を進めることです。また、接着剤を使用した構造用合板を使用せずに合板と同様の耐力を実現する斜め張り工法の開発を目指しています。

今までの活動状況

<平成 27 年度>

事業名：秩父産「丸み材」を活用した健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発

「床斜め張り工法」の斜め張り部材（幅 120mm×厚 30mm×長 4000mm）について、柱をとったあとの秩父産「丸み」材（幅 105mm×厚 30mm×長 4000mm）を活用した試験体を 3 体制作し、せん断破壊試験を実施し、耐力データを収集しました。

<平成 28 年度>

事業名：グリーンエア工法の開発（その 2）秩父産適寸丸太による中温乾燥材の開発

付加価値向上が期待できる平角材(*)を対象に適寸丸太による中温による試験乾燥を実施し、吸放湿性、香り、表面構造への影響、割れ、含水率、ヤング率などの品質を検証しました。

<平成 29 年度>

中温乾燥材の試験乾燥の結果をふまえ、平成 29 年度は以下の活動を実施しました。

- ・平成 29 年 5 月：試験結果の報告会開催
（於：職業能力開発総合大学校）
- ・平成 29 年 8 月：研究会の開催
（於：職業能力開発総合大学校）
- ・平成 29 年 5 月以降～：
斜め張り工法の手引きの作成
- ・平成 29 年 4 月以降～：
グリーンエア工法を使用したモデル住宅開発の
取り組み





これからの活動・行事

- ・秩父産中温乾燥材については、含水率を除いておおむね良い結果が得られたため、含水率の管理についてさらに改善策を検討頂くよう製材所にはたらきかけます。
- ・斜め張り工法の改良に取り組めます。
- ・グリーンエア工法を使用したモデル住宅の開発に取り組めます。

